

神戸市の塩屋多井畑線見直し方針案の説明を受け
平成21年・塩屋の住民案を考える検討会が開かれました

11/1(塩屋小学校) 11/8(下代自治会館) 11/15(塩屋地域福祉センター)



Googleの地図に神戸市元計画を描く。



3会場に100名強の方が参加しました。都市調査計画事務所の田中代表の総合司会で、まず神戸市案に対して(①心から賛同②まあ賛成できる③悩ましい)と意見ごとのグループに別れ各自の思いをそれぞれグループごとの同事務所のスタッフの司会のもと発言しました。詳細は内ページをご参照ください。



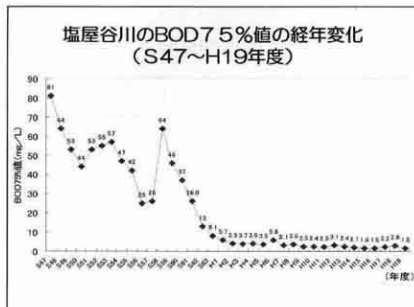
検討会の開会と閉会には、塩屋まちづくり推進会から役員の方の挨拶がありました。写真は塩屋小学校の会場で閉会の挨拶をする原田会長。

塩屋谷川をほたるの棲む水辺に



二月二九日地域福祉センターで第二回「水辺をたのしみ交流会」を開催し、塩屋谷川をほたるの棲む水辺に、桜井副会長の塩屋まちづくり推進会の概要を紹介のあと、塩屋谷川保全・整備検討委員会の山田氏。(水質検査はCODの測定データも示し今後とも継続する。)

シンポジウムでは、垂水すつきやねんクラブ・福田川探検隊・福田川クリーンクラブ、塩屋まちづくり推進会の4団体のほか、途中、歌の鑑賞や、アマチュア昆虫家などの「ほたる」や福田小学校付近の生物のお話がありました。「ほたる」のお話では福田川での放流の取組は困難なことだが、住民や行政の努力と知識・理解があれば夢は実現するという講師の熱い思いは、塩屋谷川でもほたるの放流の実現の希望を持ちました。



左は生物化学的酸素要求量(せいぶつかがくできさんそようきゅうりょう、Biochemical oxygen demand)は、生物化学的酸素消費量とも呼ばれる最も一般的な水質指標のひとつであり、主に略称のBODが使われている。一般に、BODの値が大きいほど、その水質は悪いと言える。グラフは大幅な改善を示している。

11月27日水質検査方法の指導を受けるため市役所へ訪れ、環境局の方から塩屋谷川の水質は非常によくなっている、そして環境省のホームページを参考にすれば今後の水環境調査の参考になるとのことでした。

異人館交流ゾーン検討委員会

写真のご応募ありがとうございました。塩屋の面白さがいっぱい詰まった写真集になるようただいま編集作業中です。

「塩屋百年百景」展覧会

会場：神戸・塩屋・旧グッゲンハイム邸
期間：2010年3月27日(土) 12時より
4月2日(金) 18時まで
毎日10時～20時
※初日・最終日だけ時間が異なります。

写真集「塩屋百年百景」4月1日発行予定

駅前・商業部会(準備会)



未来に受け継ぎたい
塩屋駅前の風景とは?

駅前の将来像について
あなたのアイデアを
ぜひお寄せください!



自然環境保全検討委員会

緑の保全には大規模宅地開発にルールが。
活断層縦走・急傾斜地・登山道(六甲縦走西スタート地)・源平塚史跡



平成21年1月から梅木谷宅地開発計画や急傾斜緩和造成計画の住民説明会は始まりました。現在、隣接住民の強い反対や流下のひょうたん池の地権者の同意が得られず説明会は休止の状態です。上の図1は3、4年前に隣接の居住関係者に提示された9万㎡弱の宅地開発計画図をGoogleの写真に重ねた図です。図2は計画地は塩屋で唯一広く残された自然林の豊かな緑で覆われた地域の写真です。隣接地で砂防ダム工事が行われているように土石流が起きかねない危険な地域です。さらに活断層も縦断し、地震が起ると甚大な地震被害が想定されます。六甲縦走路の西端であり、源平塚等の貴重な史跡もある地域です。図1は前に何度も色々な業者が計画しては頓挫しまた違った業者が計画するという連鎖を食いとめるには当地を開発不適な市街化調整区域等にすれば自然の保全と、住民が安全で安心して住める町になります。